

令和6年度 学校法人 今川学園 事業計画書

1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年12月17日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18
電話番号 072-337-1580
ファックス 07-336-3843
ホームページ <https://konomi-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園
定員480名
実員320名

④理事長氏名：今川公平
*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況
木の実幼稚園：園長1名・教員34名(内2名産休中) 事務職員1名
派遣職員 バス運転士5名
業務委託 給食調理員4名
令和6年度 新規採用者4名
令和6年度 退職者4名

2、木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	令和5年	幼稚園児実員320名(5月1日現在)
	3歳児	5クラス 97名 前年度110名6クラス
	4歳児	5クラス 116名 前年度108名5クラス
	5歳児	6クラス 107名 前年度135名6クラス
		320名 353名
	未就園児クラス	29名 前年度 30名
	総合計	349名 前年度373名

②教育目標及び方針

【教育目標】

a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。 ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のこともしっかり出来る。

b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

- a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。
- b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。
- c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。
- d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～あもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。
- e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。
- f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。
- g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40
Bグループ 10:10～14:40
- 預かり保育 早朝 午前8時から午前9時まで
放課後 午後5時まで

④保育料及び諸経費

- 保育料～月額 38,000円 (食材料費 5,000円を含む)
- バス協力費: :月額 5,000円(税込み)

⑤入園時の費用

- 入園料: 1, 2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費: 20,000円 進級時10,000円

⑥預かり保育

- 月～金曜日: 13:40～17:00
- 午前8時から保育始業まで早朝預かり保育を実施
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施計画

- 4月/入園式、始業式
- 5月/創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月/参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月/七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月/夏休み、地蔵祭り、夏季保育
- 9月/始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園、体験入園
- 10月/運動会、新入園児面接、参観日
- 11月/秋の遠足、日帰りキャンプ
- 12月/音楽発表会、個人懇談会、終業式
- 1月/始業式、ミュージアム遠足、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月/節分、造形展、入園準備説明会
- 3月/卒園式、終業式

⑧ 主な新しい事業の目的・計画

1、令和6年度は、前年度比マイナス33名という大きな落ち込みとなり、令和6年度の予算編成においては、各事業収支は大変厳しい事となった。全国的な少子化が一層進んでいる中、今後の安定的な園経営の為には新事業の構築のみならず、施設給付型幼稚園に移行する事も含め、その研究と令和7年度の体制構築の決定が必要である。令和6年7月までに以上を決定するものとする。

2、地域開放型子育て支援 新事業の構築 事業名「コノミナ」

令和5年10月末に新ホール「みなるホール」が竣工したことを受け、新ホールは、地域開放型の子育て支援事業を展開するベースとしての機能を持たせる計画を立案、1歳から未就園児をもった親子を対象に様々な活動を「コノミナ」と命名し、令和6年5月より開始する。

絵本とおもちゃのライブラリーとしての「みなる文庫」、隣室の保育室は2歳児 ナースリークラスの機能を持たせるが、両方のスペース+2階「みなるホール」+新しく整備された園庭+既存のアトリエ棟などをフルに活用して、音楽、アート、健康、食など、親子が様々な活動を通して交流と情報交換を深める場を積極的に提供する計画である。実施については、ベテラン担当教員を3名充てる計画である。

本事業は、木の実幼稚園の広報としての役割に加えて、収益事業として学校法人を支える新しい役割を期待したい。

3、前年度から継続して、木の実幼稚園のアートとプロジェクト・アプローチ型保育を中心とした独自の実践を、一般書籍として(株)学研から発刊すべく、現在編集作業が進行しており、令和6年秋の出版を計画している。仮題は「アートでふくらむ遊びの世界」。読者は、保育者・研究者・保護者を想定。監修および解説は、滋賀大学准教授 山本一成先生および佐川早季子先生である。

4、送迎バス体制の再編

送迎バス利用者は、園駐車場の整備に伴い、年々利用者が減少しており、一部バスにおいては、園児が5名のみしか乗車していないケースもある為、令和6年度中に、現在の5台体制から4台体制に再編を行う必要がある。令和6年7月までに、この方向で再編を決定する。